学校の教育目標　１　自ら学び、真理を究める　　２　自ら律し、他を尊重する　　３　自ら拓き、社会に貢献する

	主な学校行事	日付		主題名	資料名	内容項目	ねらい	ねらい補足
4	始業式	4月15日	1	法やきまりの意義	元さんと二通の手紙	C-10 遵法精神、公徳心	二通の手紙を受け取った元さんが「この中に2つ足りて来た方をください。」について考えることを通して、法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守ろ、規律ある安定した社会が実現に努める道徳的態度を養う。	①教物語の規則について質疑させ、特に入園の規則の意義と問題提起する。 「ひさんさん、規則を破ってる？規則を入園させたのはどうしてだろう。」 ②事務所で連絡を待っていた元さんは、どのようなことを思っていたのだろう。 「ひさんさんは、元さんの事をどう思っていたのだろう。」「元さんは、どのようなことをしたのだろう。」 ③「ひさんさんの入園は事務所の一存」を決めたのは、どのようなことがあったのだろう。 ④教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
		4月22日	2	責任ある判断	リクエスト	A-1 自主、自律、自由と責任	自分たちの相はずみなリクエストが、結果的に伊藤さんの心を大きく傷つけることになったのを通して、自律的な判断と責任の大切さに気付き、自主的に上手な判断し、行動の結果に責任をもった道徳的態度を養う。	①アンケートを取り、意見の交換をする。 「アンケートを取って、意見がみんなに伝えられたと思うか。」「アンケート結果について、確定案用にかえる。」 ②伊藤さんの気持ちを考えてみる。 「伊藤さんは、最後まんじゅうのことを伝えて欲しかったと思うか。」「どうしてだろう。」 ③伊藤さんへの手紙を書く。 「思い残った言葉は？、どうしてかな？考えたのはどのようなことかな？」 ④教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
5	体育祭	5月6日	3	家族の深い愛情	スダチの苗木	C-14 家族愛、家庭生活の充実	病弱の父を知ってくる妻は本を書きの人間を共感的に理解することを通して、自分を育ててくれている家族の愛情の深さに気付き、家族を敬愛して、家族が一員としてより良い家庭生活を築こうとする道徳的態度を養う。	①アンケートを取り、意見の交換をする。 ②書き出し、ひたむきに働くその姿に深くいたいのは妻だけかも、友達に話そうとしたのはどうしてだろう。 「１行短冊に作業指示で「病み、スダチの苗木を植えよ」を、妻はどのような思いで実ていたのだろう。 どこはどのような思いで苗をの子程度に、スダチの苗を植えたのだろう。 ③病弱の苦労を知った時、どのような思いが妻の心を動かし、妻と一緒に、どのようなことをしたのだろう。 ④教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
	定期考査前	5月13日	4	寛容で謙虚な心	山寺のびわの実	B-9 相互理解、寛容	さとさ竹屋の話を聞いて、親子と相手で子ども思えの心の変化について考えることを通して、寛容で謙虚な心のさを大切さに気付き、相手の個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方を受け入れていく道徳的態度を養う。	①「親子の関係」について質疑させ、親子と相手で子どもの心の変化について考えることを通して、寛容で謙虚な心のさを大切さに気付き、相手の個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方を受け入れていく道徳的態度を養う。 ②「親子の関係」について質疑させ、親子と相手で子どもの心の変化について考えることを通して、寛容で謙虚な心のさを大切さに気付き、相手の個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方を受け入れていく道徳的態度を養う。 ③「親子の関係」について質疑させ、親子と相手で子どもの心の変化について考えることを通して、寛容で謙虚な心のさを大切さに気付き、相手の個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方を受け入れていく道徳的態度を養う。 ④教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
		5月20日	5	自制する心	独りを慎む	A-2 節度、節制	～人暮らし老婆の薬屋がローンっ「どうしてすること」を手がかりに、「独りを慎む」ことの意義を考えることを通して、節制に心掛けて、心身の健康や安全で調和のある生活を築いていこうとする道徳的実践意欲を養う。	①「行動の思い、振る舞いを思起させ、考あさせる。 どのような気持ちが、薬屋を行動感じていたのだろう。 ②薬屋が、行動の感じなっていたことを「大変だ」と思うのはどうしてだろう。 「「大変だ」とはいっているのであれば、きちんとすればいいのではないのだろうか。 ③「独りを慎む」ことの意義について、話し合いをしてみよう。 薬屋が「薬は薬なのだ」と言ったのは、どのような気持ちからの言葉なのであったのだろう。 ④教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
		5月27日	6	生命の尊さ	誠かのために	B-19 生命の尊さ	残りわずかな時間を子供たちのために起死回生をあとうとする母の姿から、「誠かのために生きる」ことについて考えることを通して、生命の尊さを実感性や問題性の2重論的・多角的に理解し、かけがえのない命を尊重する道徳的心情を育む。	①「生きる」の意について質疑させ「どのような意義を思い浮かべるか質問し、「誠かのために生きる」ことを学習課題として明示する。 ②母親さんの病棟を受けてから、母は毎日をどのような気持ちで過ごしていたのだろう。 ③「たかが非常況を見届けた時、母はどのようなことを思ったのだろう。 「母親さんは、どのような思いで「誠かのために生きる」ことを考えていたのだろう。 ④誠は、どのような思いで母のおかげを見つめていたのだろう。 ⑤母のお見舞に生きて、子供たちにバトンタッチした「大切なこと」とは何だろう。 ⑥教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
6		6月3日	7	希望をもって生きる	優しいうそ	A-4 希望と勇気、克己と強い意志	交通事故による重傷を考り続ま、「頑張ってね」として後輩を励ました薬屋の生き方について考えることを通して、勇気と希望をもってどうきるこの大切さに気付き、より高い目標に向かって、困難や失敗を乗り越えていこうとする道徳的実践意欲を培う。	①薬屋、病気等で辛さがあり、を慰であることについて質疑に結ぶする。 ②「どうせ無理」とすぐきたがる。薬屋はどのような気持ちであったのだろう。 ③薬屋がストレッチャーのおこすのイヤイヤ泣いたのはどうしてだろう。 ④「一緒に一学校を乗り越えて」、薬屋が「頑張」に絶縁することを決心できたのは、どうしてだろう。 ⑤薬屋が「今、生きることが大切さ」で、と言えるのはどうしてだろう。 ⑥教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
		6月10日	8	役割と責任の自覚	監督がくれたメダル	C-15 より よい学校生活、集団生活の充実	監督の「ミットの今や為りを通じて、確でったのようにかったの薬屋の心の変化について考えることを通して、自己の所属する集団の意義や果たしの役割と情熱し、責任を自覚して集団生活の充実に努める道徳的実践意欲を培う。	①本時の題材が「部活動意義の大会」であることを紹介する。 ②薬屋が「もうッッとそりの今のやのたっ」と言ったのはどうしてだろう。 ③監督の「何も言わないでもなかってもらえると思ったのにもやがあれ」とは、何を分かってもらいたかったのだろう。 ④薬屋がッッを「無に打ったりになったのはどうしてだろう。 ⑤メダルを手渡した監督の「よう頑張ったのか」という言葉には、どのような思いが込められていたのだろう。 ⑥教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
	道徳公開講座	6月17日	9	いじめを許さない心	卒業文集最後の二行	C-11 公正、公平、社会正義	ドさんへいじめを陰に隠す薬屋の心情について考えることを通して、思わないこれを引き起こす人間の弱さや職とに気付き、思別や偏見、いじめのそれなど意を無視して非合いな道徳的態度を養う。	①教材「いじめの現実」の題についている人の平記「あることを紹介する。 ②「ドさんへいじめ」を陰に隠す薬屋の心情について考えることを通して、 ③「ドさんへ」の「ごめんなさい」とは、どのような思いが込められていたのだろう。 ④「ドさんへ」の「ごめんなさい」とは、どのような思いが込められていたのだろう。 ⑤「ドさんへ」の「ごめんなさい」とは、どのような思いが込められていたのだろう。 ⑥「ドさんへ」の「ごめんなさい」とは、どのような思いが込められていたのだろう。 ⑦教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
	定期考査前	6月24日	10	人と人とのつながり	原稿用紙	B-6 思いやり、感謝	お原面にかなっている農民画家の母思から電話を受け、居を開いた薬家の人様にいて考えることを通して、思いに支え合う関係作のよこに知り合い、思いやりのよこ感謝の念による人と人とのつながりを大切にする道徳的心情を育む。	①「ひさんさんのおかれるような問題を考え。 ②全国語を持ったまま思地ったり知己声をとげた薬家の思いは、どのようなものだったのだろう。 ③母親の語を聞いて、薬家はかれこれ何を思い知ったの、どのようなことを考えていたのだろう。 ④母親が、薬家にお礼の電話をかけてきたのはどうしてだろう。 ⑤薬子を無視と知らにどのような存在だったのだろう。 ⑥教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
7	終業式	7月8日	11	自然との共生	膳炭のこと	D-20 自然愛護	膳炭の人々による自然共生の取り組みを知った「私」の思いについて考えることを通して、自然の恵みや自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努める道徳的実践意欲を培う。	①「自然はつかっている」ということについて、知っていることを発表させる。 ②人類と人々が密生神の生を切り結ばされた、どうしてだろう。 ③膳炭の人々は、どのような思いで植林を続けたのだろう。 ④膳炭がかまっても、海が生き残りそうもないからだ。膳炭の人々はどのような気持ちであったのだろう。 ⑤「海が生き残りそうもない」とは、どのような意味なのだろう。どのようなことを考えていたのだろう。 ⑥「海が生き残りそうもない」とは、どのような意味なのだろう。 ⑦教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
		7月15日	12	自己の向上を図る	ぶれない心 ― 松井 秀喜 ―	A-3 向上心、個性の伸長	自分で考え、工夫しながら努力を積み重ねてきた松井秀喜さんの生き方について考えることを通して、自己を見つめ、自己の向上を図っていこうとする道徳的実践意欲を培う。	①本時の題材を紹介する。 ②「ぶれない心」とは、どのようなことだろう。 ③「努力できることが夢である」とはどういうことなのだろう。 「これから自分自身をいっそう高めていくことについて道徳ノートに記入する。
9	始業式　文化祭前	9月2日	13	生きる希望と喜び	ひまわり	B-22 よりよく生きる喜び	苦しい生きの日にしたことをふっかけに、絶望を乗り越え、誇りをもって生きようとする薬家の生き方の変化について考えることを通して、自らの生きの魅力と輝い、自己を豊いかたやで、生きる希望や夢に生き抜く道徳的心情を育む。	①本時の題材に基かせた作文を書く。題にたどり出る。 ②「ぼくにいる間ってどのようなことだろう。」 ③「ぼくにいる間ってどのようなことだろう。」 ④「ぼくにいる間ってどのようなことだろう。」 ⑤「ぼくにいる間ってどのようなことだろう。」 ⑥教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
		9月16日	14	心から信頼できる友達	ライバル	B-8 友情、信頼	友情をめぐる良心の呵責に苦しみながらも、それを乗り越えていこうとする啓之と薫さんの心情を共感的に理解することを通して、心から信頼できる友達のよさや大切さに気付き、友達と互いに励まし合い、高め合う関係を築いていこうとする道徳的実践意欲を培う。	①タイトルからはどのような作品のイメージとなる。 ②啓之が薫さんの名無いにだろうとしても、見が出かなかったのはどうしてだろう。 ③「無無」に私の思ったは、どのような気持ちで薫さんに言葉をかけていたのだろう。 ④手紙を書して、啓之はどのような思いを啓子に伝えようとしたのだろう。 ⑤「薫さん「心の痛い」とはどういうことだろう。 「どうしてそれを啓子に伝えようとしたのだろう。 「これからこんなどのような気持ち思いについての感激さをなかなら、友達について感じたことを考えたことを道徳ノートに記入させる。
		9月22日	15	自己の行為の責任	ビヨ子	A-1 自主、自律、自由と責任	加茶の者勝に迫った調整が紙数したことで起き問題について考えることを通して、自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもった道徳的実践を養う。	①自分たちの携帯電話やスマートフォンの使い方を振り返り、題材への意識付けを図る。 「いろいろ使ってみたい携帯に関係いて出ったと加藤手は、どのようなことを思ったのだろう。 ②加茶が、どうして自分のせいではないと言ったのだろう。 「加茶は、どのような気持ちで「ビヨ子のせいではない」と言ったのだろう。 ③「ビヨ子のせいで」謝ってはいることに問題があるのだろう。問題を含めて考えてみよう。 ④「携帯は使ってはいけない」と言ったのは、どのような思いが込められていたのだろう。 ⑤「携帯は使ってはいけない」と言ったのは、どのような思いが込められていたのだろう。 ⑥教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
		9月30日	16	礼儀の美しさ	席を譲られて	B-7 礼儀	高齢者に席の礼儀の美しさと、それを体験した筆者の礼儀について考えることを通して、相手の人格を認め、尊敬や感謝の念を伝える礼儀のよさや大切さに気付き、時と場に応じて適切な言動をとろうとする道徳的実践意欲を培う。	①高齢者パネルの話を通じの体験を想起させ、もう通じの相手が無言でその場から離れていったりと言うを紹介。 ②薫さは、高齢者に席のことその時を言いたり言ったのだろう。 「しっさやれ」の言いは、どういうことだったのだろう。 ③薫さが席を譲られた時、下薫に礼をするのはどうしてだろう。 「薫さはどのような思いをなのて、頭をやるのだろう。 「「礼儀の精神」とはどういうものか、また自分自身の礼儀について振り返り考えたことを道徳ノートに記入する。
10	定期考査前	10月7日	17	勤労の尊さや意義	てんぷらばかり	C-13 勤労	「はったらかないのがある」というその言葉を通って筆者が気付いたことについて考えることを通して、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通じて志に貢献しようとする道徳的実践意欲を培う。	①授業の仕事や職方のいてイメージ学を、勤労への自覚付を図る。 「プレゼン時を自覚の様子を見ながら、筆者はどのようなことを考えていたのだろう。 ②時でたとこに対して、筆者の自覚心が強まったのは、どのようなきっかけからだろう。 ③薫さは、どのようなことを考えて「ぼくまで粘土粘土粘り強」と思ったのだろう。 ④自己の中で、謝がつけることと問題があるのだろう。問題を含めて考えてみよう。 ⑤薫さは自己はいた思には、どのような思いが込められているのだろう。 ⑥教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
		10月13日	18	信頼と敬愛の念	アイツの港語選択	B-8 友情、信頼	進路選択をめぐる高一と筆者の思いを共感的に理解し、より良い関係を築いていこうとについて考えることを通して、異性間において信頼と敬愛の念に基づき、互いを向上させていける人間関係を築いていく道徳的実践意欲を培う。	①「ようやっ」で「アイツ」が学習を想起させ、題材への意識付けを図る。 ②「アイツ」の言葉を聞いて、「ぼくは、ちょっとうれしかった」と言ったのは、どうして、筆者はどう思ったのだろう。 ③筆者が進路変更したことを知った高一は、どのようなことが不思議に思ったのだろう。 ④今後、こんなような関係を築いていくためには、どのようなことを大切にしたらよいのだろう。 ⑤授業を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
		10月21日	19	思いやりの心	月明かりで見送った夜汽車	B-6 思いやり、感謝	人生をの知時を感じて電気を待ち望む生き、それに対して声をかけ始きを迎える生きたちの思いについて考えることを通して、相手の重荷になりたい思いやりのようなやり方によって知ります、謝・感謝と共感に基づく思いやりの心を大切にする道徳的心情を育む。	①「ありがとう」の言葉を聞いて、どのような心情変化が生じたのだろう。 ②「この頃で知恵に知ったことってなんだろう。 ③「大当たりどのような思いで「人生をの知時を感じ」と言ったのだろう。 ④「明りたちに対して、筆者の自覚心が強まったのは、どのようなきっかけからだろう。 ⑤「ありがとう」の言葉を聞いて、筆者はどのような思いが込められていたのだろう。 ⑥「ありがとう」の言葉を聞いて、筆者はどのような思いが込められていたのだろう。 ⑦教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
		10月28日	20	支え合う家族の絆	母と子のロードレース	C-14 家族愛、家庭生活の充実	アミストートレとの日々を家族が、母への生涯感謝を伝えたり、ロードレースに挑戦し続けた芝園母さんの思いについて考えることを通して、家族からの支えや無形の愛情に気付き、家族の一員としての自覚をもって、互いに支え合う家庭生活を築いていく道徳的実践意欲を培う。	①「生涯手帳」について、質疑に説明する。 ②「ったっ」で「思のたの」疑疑を、「しっ」、「ったっ」と言う言葉とは、どのような愛情なのだろう。 ③「ぼくこそ」で「母は、どのようなことを思っていたのだろう。 ④母親がトレーニングを続ける芝園さんを支えていたのは、どのような思いからだろう。 ⑤日本陸手権に勝利し、母と抱き合う芝園さんは、どのようなことを思っていたのだろう。 ⑥教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
11	修学旅行前	11月4日	21	生命倫理をめぐる葛藤	ドナー	B-19 生命の尊さ	二つの母親の思の相反にある心に対する感じ方や考え方を探り、生命倫理の問題について考えることを通して、生命の尊さを多面的・多角的に理解し、自他の生命の尊厳をする道徳的心情を育む。	①授業の題材を紹介する。 ②「母親の相反の問題」について質疑に説明する。 「一つの母親で、筆者が「絶対ドナーにさせたくない」というのはなぜだろう。また、そこには他にどのような考えがあるのだろう。 「一つの母親で、筆者が「絶対臓器提供には反対だ」と言ったのは、自分の臓器提供には絶対のはなぜだろう。また、そこには他にどのような考えがあるのだろう。 ③「生命の尊厳」について質疑し、筆者は最後に自分ならどうと問で、自己の考えを振り返り、道徳ノートに記述させる。
		11月17日	22	差別や偏見のない社会の実現	虹の国 ― ネルソン・マンデラ ―	C-11 公正、公平、社会正義	ネルソン・マンデラが非暴力を社会の在り方について考えることを通して、無知から生まれる偏見や不寛容なかなど人間の弱さや偏さに気付き、正義と公正さを重んじ、差別や偏見のない社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。	①授アフリカ共和国の歴史を確認し、アパルトヘイトについて質疑に説明する。 「黒色人種に黒人国民を白い市ったことにヤッパリ？」と、言葉でどうやってして、言葉できない？と疑ったのだろう。 ②「絶身性で自覚されなかっ、マンデラが黒人を中のためにわたにはいかないと考えたのはどうしてだろう。 ③「アパルトヘイトが無くなったのに、マンデラが「まだ黒人は自由にはいかない」というのは、どうしてだろう。 「マンデラが目指した「和の国」とはどのような国だろう。 ④自分のしあわせは全国民が幸せになってはじめて成立するものだ、とはどうしたのだろう。授業を通して感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
	定期考査前	11月25日	23	理想を追い求める	風に立つライオン	A-4 希望と勇気、克己と強い意志	「風に向かって立つライオンこれからいう」と言う「夢」のきさ方について考えることを通して、人生の理想を追い求めることの大切さや困難らに対して、強い意志と希望をもって人生を切り拓いていく道徳的実践意欲を培う。	①教材が題材に、かべての思ふからもしの超様を知らせる予測に対する授業であることを伝える。 ②「夢」はどうして進んと関係にてをマラソンに行く様子をしたのだろう。 ③「風に向かって立つライオンってあるのだ」とは、どのようなきさ方のだろう。 「このような方法の理想を追い求める「夢」のきさ方を、あなたはどう思うだろう。 ④授業を通して感じたことを考えたことを道徳ノートに記述する。
12	定期考査前	12月2日	24	よりよく生きる喜び	二人の弟子	B-22 よりよく生きる喜び	組合の役目を支て調を使十野好の思いについて考えることを通して、自己の弱さや難さを乗り越えようとする人間の強さや尊厳さに気付き、人間としてよりよく生きる喜びを見出していこうとする道徳的実践意欲を培う。	①授業の題材の紹介を確認させ、「ぼくにいる間ってどのようなことだろう。」 ②「ぼくにいる間ってどのようなことだろう。」 ③「ぼくにいる間ってどのようなことだろう。」 ④「ぼくにいる間ってどのようなことだろう。」 ⑤「ぼくにいる間ってどのようなことだろう。」 ⑥教室を離て感じたことを考えたことを道徳ノートに記述する。
		12月16日	25	感動、畏敬の念	ほっちゃれ	D-21 感動、畏敬の念	ほっちゃれのやさまいい生活で、ほっちゃれを手に取ってやる男性に対する筆者の思いを共感的に理解することを通して、大いなる自然の神秘や生命の営みの感動や敬虔の念をもった道徳的心情を育む。	①「自然に触れる」、感動しかしたり感動を振り返らせる。 ②「筆者は鶴の巣に「そっとこの「あなたにいてください」と、言葉できない？」と言ったのだろう。 ③筆者が「ほっちゃれ」の感動に触れたを感じとのはどうしてだろう。 ④「無のれのたのおいかるる」、という筆者は、どのようなことを思っていたのだろう。 「ほっちゃれの姿から、あなたはどのようなことを感じたのだろう。 「私たちは自然や生命の営みに感動した？」と言ったのは、どのようなことを思ったのだろう。 ⑤授業を通して感じたことを考えたことを道徳ノートに記述させる。
		12月22日	26	道徳的自覚に支えられた生き方	カントとルソー	A-1 自主、自律、自由と責任	カントがルソーの『エミール』から学んだことについて考えることを通して、人間が本来的にもつ良心の尊さに気付き、自律の精神を重んじる道徳的心情を育む。	①「よりよく生きる」を学習課題として提示し、そのために大切なことは何か問題提起する。 ②自律の本へ人が乗り「思っていたのは」とは、どのようなことだろう。 ③自律がない人は「よくきる」ことができないのだろう。 ④「自律ではない」、人間に尊重することを学んだ」とはどういうことだろう。あなたが尊重すべきだと思う「人間」とは、どのような存在だろう。 ⑤「よりよく生きる」とは、どのような生き方をしていくことのだろう。授業を通して感じたことを考えたことをクラスに書いてみよう。 ⑥この内容について質疑し、自分自身の生活と関連を意識させ終わる。
1	始業式	1月13日	27	心の通い合い	ある元旦のこと	B-6 思いやり、感謝	病院前に座まと感じて子どもを手を抱第と筆者の感動を共感的に理解することを通して、人と人との心の通い合いのよさに気付き、人は互いに支え合ってきたさいることを自覚し、思いやりと感謝の心をもって他者に接していこうとする道徳的実践意欲を培う。	①「遅参のしきたり」を思い浮かべ、遅刻の意義をイメージさせる。 ②薫さのはどのような思い「神経者ってゆ」ていたのだろう。 ③病を子ども子を抱第と筆者は、どのようなことを感じたのだろう。 「神のようながはなかの薫者の感動とは何だろう。 ④「神のような」とは、どのような存在なのだろう。 ⑤授業を通して感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
		1月20日	28	国と国との友好の絆	海と空 ― 鞭野の人々 ―	C-18 国際理解、国際貢献	ルトトゥールの話を知った「私」の思いについて考えることを通して、国際的な相互依存の小さな大切さに気付き、世界の平和と人類の発展のために、他国の人々と支え合い、助け合おうとする道徳的実践意欲を培う。	①ドンファイ「戦争」「戦」の意のいについて質疑させ、国際的な相互依存の小さな大切さに気付き、世界の平和と人類の発展のために、他国の人々と支え合い、助け合おうとする道徳的実践意欲を培う。 ②ルトトゥールの話を知った「私」の思いについて考えることを通して、 ③ボルボンボンボンとは何だろう。 ④「ボルボンボンボンとは何だろう。 ⑤国と国との友好の絆とは、どのようなものだろう。 ⑥授業を通して感じたことを考えたことを道徳ノートに記入する。
		1月27日	29	公徳心	ベビーカー論争	C-10 遵法精神、公徳心	ベビーカー論争の報道について考えることを通して、社会生活における公徳心の大切さに気付き、進歩精神とそれを支える公徳心を大切にして、規律ある安定した社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。	①資料のグラフの内容を確認し、ベビーカーを利用しているとんが感じていることを押さえる。 ②「ベビーカーに乗って電車の中に入り電車内さまで自分の。ベビーカーを利用の中で思ったのは、どうしてだろう。 ③「ベビーカーの使用されることを指に遵規範があるは、どういうきんの意見をどう思うだろう。 「注意文は「社会全体の子育てに対してアムネ大」、ではないのだろう。 ④ベビーカー論争を解決するには、譲歩されるなどを大切にする必要があるのだろう。 ⑤ベビーカー利用者は毎月、公共の場の利用者について調査する。授業を通して感じたことを考えたことを道徳ノートに記入させる。
2		2月2日	30	伝統文化を守り受け継ぐ	運命の本 ― 姫路城の大柱 ―	C-17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	姫路城の大柱に込められた人々の思いを共感的に理解することを通して、先人の残した伝統文化の大切さに気付き、我が国の優れた文化の継承と文化の創造に努めようとする道徳的実践意欲を培う。	①姫路城について質疑に紹介する。 ②年間で姫路城の人々はどのような思いで調神を心構えることを説明しためのだろう。 ③大柱の人たちを、誰も見を組み入れたことのないような印象的に自分の中でたちの対応だったのだろう。 ④「シンバシ　オッタ　ネキシ」の電報を、当時どのような思いで聞き続けていたのだろう。 ⑤棟梁の体験はどのような思いで知識のもとを設けたのだろう。 ⑥「ぼくは、ぼくの人生の中で、ぼくの人生の中で、ぼくの人生の中で、ぼくの人生の中で、」とは、どのようなことだったのだろう。 ⑦伝統文化を守り受け継ぐことの意義に関わるから、、、